

1 地域子ども施設に関するニーズ

- ▶遊び場や居場所、交流の場を学校以外にも作ってほしい。
 - ▶学童の待機児童を解消し、児童全員が利用できる放課後の安全な居場所がほしい。
 - ▶屋内で自由に遊べる居場所がほしい。
 - ▶乳幼児の一時預かり事業をさらに充実してほしい。
 - ▶いつでも自由に外遊びができる常設型のプレーパークがほしい。
 - ▶子育て活動支援団体の活動の場を設けてほしい。
 - ▶子どもたちの自習スペースがほしい。
-
- ▶児童館は、月曜と日曜も開館してほしい。
 - ▶児童館のトイレを洋式にしてほしい。
 - ▶児童館のホールや遊び場を広くしてほしい。
-
- ▶児童館や子育て広場が近くにない。
 - ▶キッズ・プラザが通学している小学校にない。

子ども施設の地域偏在を解消してほしい。

2 健全育成や子育て環境の現状と課題【中野区の捉え】

- ▶共働き世帯が増加していることにより、乳幼児保育や学童保育のニーズが一層高まっている。
- ▶(新型コロナウイルス感染症の長期化により)経済的な格差が拡大している。
- ▶医療的ケア児にとって必要な支援が多様になっている。
- ▶子育てが孤立化しがちである。
- ▶行政などが必要な支援を行うためには、家庭の問題を包括的に把握する必要がある(なかなか難しい)。
- ▶児童などの子どもたちにとって、安全で安心できる居場所を確保する必要がある。
- ▶中高生にとって、家や学校以外の居場所が少ない。

3 ニーズと現状・課題を踏まえた、地域子ども施設の整備・事業展開の考え方(案)

中野区は、子育て家庭にとって、子育てしやすい、子育てしやすい環境をハード・ソフトの両面で整備し、充実していきます。

▶次の機能の強化が必要であると考えています。

- ①子どもの居場所・遊び場、中高生の居場所機能
- ②乳幼児親子の居場所、乳幼児の一時預かり機能
- ③地域の見守り・ネットワーク支援・相談支援機能

▶これらの機能を強化するため、児童館の「地域見守り・ネットワーク支援機能」を強化するとともに、「中高生居場所事業」等を充実する一方、学童クラブやキッズ・プラザを拡充します。

さらに、児童館を一部閉館し、乳幼児親子利用、「外遊び」に機能特化した施設へ転換することを検討します。

「区民と区長のタウンミーティング」 子どもと親の利用する地域施設について 22.10.24

施設		機能				整備の方向性
		子どもの居場所・遊び場	中高生の居場所	乳幼児親子の居場所	乳幼児一時預かり	
児童館	機能強化館	○	○	○		子どもの居場所・交流等の機能に加え、子育て支援や地域の見守り、ネットワーク支援機能を強化します。中学校区に1館配置します。
	中高生館	○	○	○		機能強化する児童館に加え、施設の規模を拡大することが可能な児童館で、中高生を主な利用対象とした事業を展開します。中高生談話スペース、スタジオ、ホール、研修室等の設置を検討します。
児童館閉館跡活用	乳幼児向け事業強化	○		○	検討	乳幼児向け事業を強化した施設へ転換します。学童クラブの需要がある小学校区においては、学童クラブも併設するとともに、近隣の保育園等の一時保育事業の利用状況を調査し、一時預かり事業の実施も検討します。
	外遊び事業強化	○		○		「自由に外遊びができる施設」へのニーズに応えるため、「外遊び」事業を強化した施設へ転換します。
キッズ・プラザ		○				順次全小学校に整備します。全校に設置するまでの間、児童館と学校が連携した放課後の居場所事業の拡充を図ります。
学童クラブ		○				需要数を満たすよう整備していきます。
子育てひろば				○		児童館や閉館する児童館後の施設のほか、他の区有施設の有効活用も検討します。乳幼児親子の居場所が徒歩圏内（概ね500メートル圏域）に確保できるよう整備していきます。